

平成30年 北海道胆振東部地震を受けて

このたびの「平成30年北海道胆振東部地震」により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害に遭われました皆さまに対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

本市では、2人の方が犠牲に、21人が負傷した他、建物や道路の損壊、高丘霊園では墓石倒壊や地割れが発生、苫小牧港では液状化現象が起こるなど、多くの被害を受けました。電気や水道などのライフラインは、近隣町に比べて影響が少なかったものの、多くの市民の皆さまが不安な時間を過ごされたことと思います。

市といたしましては、早急に災害対策本部を設置し、自衛隊をはじめとする関係機関のご協力のもと、避難所開設や給水所設置など不安解消に努めるとともに、市民生活への影響を最小限にとどめるよう対応してまいりました。

一方、今もなお、近隣町では、不自由な生活を余儀なくされている方々がおられます。本市としても、可能な限りの支援を行ってまいりたいと考えております。

最後に、市民の皆さまをはじめ、さまざまな事業者や団体などから多大なるご協力や心温まるご支援を賜っておりますことに感謝申し上げますとともに、市民の皆さまにおかれましては、今後も自身の安全を守るための備えと、冷静な行動をとっていただきますようお願い申し上げます。

苫小牧市長 いわくら ひろふみ 岩倉 博文



- ①地震発生直後、車のヘッドライトだけが光る市内 ②③海上自衛隊の船による災害支援 ④外壁の一部が崩れた白鳥王子アイスアリーナ
⑤不安を抱えた人たちが昼夜身を寄せた避難所 ⑥携帯電話などの充電に長い列ができた市役所庁舎内 ⑦市内飲食店などによる炊き出し
⑧岡山県総社市とNPO法人ピーク・エイドによる災害支援